

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	業務課	内線等	97-1168
事業コード		事務事業名	競走水面管理事業	
根拠法令等		A 法令	B 条例	C 規則 <u>① その他</u> E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	レース開催日の滑走水面を
手 段	浮遊物等の除去をすることにより
想定する成果	円滑なレース開催を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
掃海日数	192日	186日	192日
業務量	3人×20分	3人×20分	3人×20分

④成果指標

	①	②
成果指標名	年間延業務時間	
成果指標の説明	年間延業務時間	

⑤事業の進捗状況

(モーターボート競走事業特別会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	192時間
	実績	192時間	186時間	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	62千円	51千円	62千円
	人件費	1,672千円	1,653千円	1,684千円
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,734千円	1,704千円	1,746千円
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,734千円	1,704千円	1,746千円

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	掃海業務を行うことにより、事故防止に努めることができた。
経済効率性	2	2	掃海業務に見合った成果を挙げている。
事務効率性	2	2	人員に見合った成果を挙げている。
必 要 性	3	3	市が実施すべき事業である。
小 計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

浮遊物の多い時期及び、大量に藻が発生した時期は他の職員を動員して、レース開催に間に合わせた。

⑧今後改善すべき点

レースの安定的な開催のため、開催時間までに適切な掃海作業を継続していく。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	業務課	内線等	97-1168
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	選手被服等管理事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡競艇出場選手に対して
手 段	ユニホーム、救命胴衣等の貸し出しをすることにより
想定する成果	競艇事業を円滑に運営する。

③事業の概要

（千円）

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
ユニホーム購入数	78着 3,563千円	78着 3,276千円	78着 3,276千円
救命胴衣数	0着 0千円	58着 5,664千円	5着 488千円
クリーニング代	811千円	809千円	910千円

④成果指標

①

②

成果指標名	開催日一日あたりの経費	
成果指標の説明	購入金額/開催日数	

⑤事業の進捗状況

（ モーターボート競走事業特別会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	24千円
	実績	23千円	52千円	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	4,373千円	9,749千円	4,674千円
	人件費	2,507千円	2,479千円	2,527千円
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	6,880千円	12,228千円	7,201千円
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,880千円	12,228千円	7,201千円

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	ユニホーム、救命胴衣を導入し、レースの効率を図った。
経済効率性	2	2	ユニホーム、救命胴衣は特定の業者から購入している。
事務効率性	2	2	
必 要 性	3	3	市が実施すべき事業である。
小 計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

事故発生時に重傷事故とならない素材に改善されている。
レース開催に支障にならないよう、2セットのユニホームを節ごとに交互に使用している。

⑧今後改善すべき点

レース開催に支障にならないよう、適切な運用を図っていく。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	業務課	内線等	97-1168
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	ボート・モーター購入事業				
根拠法令等	モーターボート競走用ボート登録規格等	A法令	B条例	C規則	①その他	Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡競艇事業用の
手 段	ボート・モーターを適切に購入することにより
想定する成果	競艇事業を円滑に運営する。

③事業の概要

（千円）

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
ボートの購入数	65隻 36,254千円	65隻 36,254千円	65隻 36,254千円
モーターの購入数	65基 42,492千円	65基 42,492千円	65基 42,588千円

④成果指標

①

②

成果指標名	開催日一日あたりの経費	
成果指標の説明	購入金額/開催日数	

⑤事業の進捗状況

（モーターボート競走事業特別会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	411千円
	実績	410千円	423千円	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	78,746千円	78,746千円	78,842千円
	人件費	3,343千円	3,305千円	3,369千円
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	82,089千円	82,051千円	82,211千円
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	82,089千円	82,051千円	82,211千円

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	ボート・モーターを導入し、レースの効率を図った。
経済効率性	1	2	登録基準によりボート・モーターは一年ごとに購入している。
事務効率性	3	2	購入時は群馬まで受取、検査立合いに出かけている。
必 要 性	3	3	競艇事業において、最も重要な事業である。
小 計	10 /12 満点中	10 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成11年度からナイトレースの開催のため減音モーターを導入した。

⑧今後改善すべき点

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	業務課	内線等	97-1168
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	ボート・モーター管理事業			
根拠法令等	モーターボート競走用ボート登録規格等	A法令	B条例	C規則	①その他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡競艇出場選手に対して
手 段	ボート・モーターの均一化につとめ
想定する成果	迫力のあるレースを提供する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
年間出場選手数	1,569人	1,647人	1,646人
器材事故数	0件	0件	0件

④成果指標

	①	②
成果指標名	整備士1人当たりの選手数	器材事故発生件数
成果指標の説明	年間出場選手数/整備士（6人）	器材事故発生件数

⑤事業の進捗状況 （ モーターボート競走事業特別会計 ） （千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	274人
	実績	262人	275人	—
成果指標 ②	計画	—	—	0件
	実績	0件	0件	—
事業費	事業費	17,964千円	18,363千円	17,966千円
	人件費	46,805千円	46,273千円	47,163千円
	(人数)	5.6	5.6	5.6
	合計	64,769千円	64,636千円	65,129千円
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	64,769千円	64,636千円	65,129千円

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	3	3	モーターボート整備規程に基づき行う。
経済効率性	2	2	
事務効率性	2	1	出場選手とコミュニケーションをとりながら整備を進めてる。
必 要 性	3	3	市が実施すべき事業である。
小 計	10 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	10 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

昨年度、整備士が退職して減員となっているので、7人体制を確保したい。

--

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	業務課	内線等	97-1151
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	勝舟投票券発売事業				
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	競艇来場者に対して
手 段	勝舟投票券を迅速かつ正確に発売することによって
想定する成果	競艇の売上向上を図る。

③事業の概要

（千円）

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績		平成16年度計画
手窓発売金	37,514,250 千円	15,427,735	9,687,980	17,744,013 千円
自販機発売金	3,779,191 千円	1,554,192	8,024,235	13,480,714 千円
手窓台数	284 台	281 台	183 台	183 台
自販機台数	16 台	16 台	93 台	93 台
自場開催日数	192 日	94 日	92 日	192 日

10月14日～

④成果指標

①

②

③

成果指標名	1台当たり発売金額（日）	手窓1台当たり発売金額	自販機1台当たり発売金額
成果指標の説明	手窓発売金+自販機発売金/手窓台数+自販機台数 /自場開催日数	手窓発売金/手窓台数 /自場開催日数	自販機発売金/自販機台数 /自場開催日数

⑤事業の進捗状況

（モーターボート競走事業特別会計）

		平成14年度決算	平成15年度決算		平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—	589,235 円
	実績	716,900 円	608,279円	697,551円	—
成果指標 ②	計画	—	—	—	505,009 円
	実績	687,981 円	584,074円	575,432円	—
成果指標 ③	計画	—	—	—	754,968 円
	実績	1,230,205 円	1,033,372円	937,849円	—
事業費	事業費	1,353,861 千円	1,355,356 千円	1,465,626 千円	
	人件費	33,052 千円	32,468 千円	33,412 千円	
	(人数)	4.0	4.0	4.0	
	合計	1,386,913 千円	1,387,824 千円	1,499,038 千円	
財源内訳	国				
	県				
	市債				
	その他				
	一般財源	1,386,913 千円	1,387,824 千円	1,499,038 千円	

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達 成 度	2	2	自動販売機を導入し、発売の効率化を図った。
経済効率性	3	2	自動販売機における配置人員を見直し、人件費の削減を図る。
事務効率性	2	2	発売窓口を集中化することにより、発売効率の向上が図れるようにする。
必 要 性	3	3	競艇事業において、最も重要な事業のひとつである。
小 計	10 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	2	1	サービスセンター等において、フアンの希望を聞き取っている。
合 計	12 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	人件費が経費の大きな割合を示しているので、自動販売機の導入は、今後必要である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

H15. 10. 14から手窓発券機98台を廃棄し、1台当りの発売金額の多い自動販売機77台を導入して発売の効率化及び従事員の削減を図った。
導入当初は、自動販売機の利用者のため取り扱い案内人を配置した。

⑧今後改善すべき点

1日当りの売上高が低迷するなか、各投票所の発売窓口が分散しており、特に冬場はお客が暖房設備のある、西館・中央館に集中するので、発売効率の向上を図るため、平成16年10月から1F 5投票所（手窓発券機15台）を閉鎖し投票所のコンパクト化を図る。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載